

<ドローン・ジャパン株式会社>

【ドローンリモセン連動散布サービス】



ドローンを使った農業技術を連動させて効果を得る

a) 生育観察（リモートセンシング）のドローンと
b) 散布作業のドローン

観察 ⇒ 作業 ⇒ 農作業の最適化

撮影

リモートセンシング(RS)用ドローン

解析

VARI値の算出

水稲のVARI解析値(2022/7/18 高度149m)

散布

散布用ドローン

【利用分野】

農薬散布	肥料散布	播種	受粉	農産物運搬	ほ場センシング	鳥獣害対策
------	------	----	----	-------	---------	-------

📞 連絡先

ドローン・ジャパン株式会社
 詳細： <https://www.drone-j.com/agriculture>
 問合せ： <https://www.secure-cloud.jp/sf/business/1537255904BxsNhEiE>

【価格】

¥ 3,850円~/10a (リモセン&散布サービス)

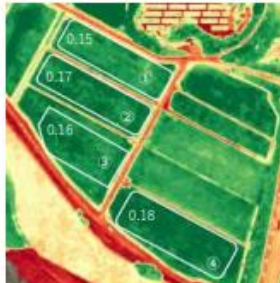
【製品説明】

- ドローンで空撮した情報より、圃場マップを作成します。
- リモートセンシングによる解析データを元に、ドローンを使った散布作業をおこないます。
- 適切な管理手法を提案します。

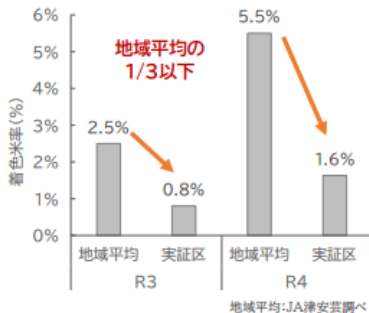
【実施事例】 令和3&4年 三重県津市つじ農園にて実証 <https://tarafuku.org/2023/13968/>

リモートセンシングと追肥の連動

	R3水稲	R4水稲	R4小麦
	ほしじるし	つきあかり	あやひかり
	玄米重	玄米重	精麦重
	kg/10a	kg/10a	kg/10a
調査方法	坪刈り	乾燥機バッチ	坪刈り
横行区	605	465	420
実証区	620	492	439
増収率	2.4%	5.8%	4.5%
	目標未達	目標達成	概ね達成



カメムシ被害の低減



【事例説明】

- 【リモートセンシングと追肥の連動】
 水稲の穂揃い期にリモートセンシングを行い、生育不足の圃場にドローン追肥を行いました（RS散布連動）。増収目標5%に対して、令和3年度の「ほしじるし」では2.4%の増収効果がありましたが、令和4年度の「つきあかり」では5.8%の増収効果が得られました。また、小麦の「あやひかり」では幼穂形成期のリモートセンシングに基づいた追肥判断により、4.5%の増収が実現しました。この方法では一般的なRGBカメラで解析されるVARIを利用しました。（高価なマルチスペクトルカメラは不要）迅速な解析結果の提供も可能であり、有用な手法として他の作物にも適用を広げることを目指しています。
- 【カメムシ被害の低減】
 水稲の出穂期にリモートセンシングを行い、各圃場毎のカメムシの発生時期を予測しました。各圃場毎の防除計画を綿密に立て、効率的にカメムシの広域防除を行うことができました。その結果、着色米の割合は、実証区では令和3年度が0.8%、令和4年度が1.6%と地域平均の1/3以下に低減されました。